

KMユナイテッドと原田左官工業所／アワードで審査員賞／リクルートキャリア

2020/02/28 建設通信新聞 11ページ 698文字

リクルートキャリア（東京都千代田区、小林大三社長）が運営する転職情報サイト「リクナビNEXT」が、企業や団体の人材育成、社員のモチベーション向上などにつながる優れた取り組みを表彰する「第6回GOOD ACTION アワード」で、建設業から審査員賞としてKMユナイテッド（京都市、竹延幸雄社長）と原田左官工業所（東京都文京区、原田宗亮社長）が選ばれた。表彰式が4日、東京都中央区の時事通信ホールで開かれた。

KMユナイテッドは、「10年で一人前になる」のが当たり前だった塗装職人の世界で、未経験の者が「3年間で技能習得できる」独自の育成プログラムを開発。職人の仕事を分析し「パテ処理」「養生」といった比較的容易に習得できる仕事から徹底的に教えることで基本工程のプロを育て、その上で熟練の職人が専門性の高い技術を伝授していく体制とした。

また、職人の技を動画撮影して配信するキャリア支援ツール「技ログ」を開発し、映像教材として活用できるようにした。外国人材の活用に向けてベトナム語などにも翻訳し、実際に同グループ会社では外国人の職人も積極的に採用している。

原田左官工業所は、これまでの左官業界にあった「見て覚える」「技術は盗むもの」という育成方法の常識を覆し、名人が壁を塗っている動画を手本にして、その動きを完全にまねすることで塗り方を覚えていく独自のトレーニング方法を導入。これを研修の導入編として行うことで、現場に出てからの成長も早まった。キャリアパスが明確になったことで定着率も向上し、20年前は見習い期間の定着率が30%にも届かない状況だったが、現在は80-90%と大きく改善されている。

本サービスで提供される記事、写真、図表、見出しその他の情報（以下「情報」）の著作権その他の知的財産権は、その情報提供者に帰属します。

本サービスで提供される情報の無断転載を禁止します。

本サービスは、方法の如何、有償無償を問わず、契約者以外の第三者に利用させることはできません。

Copyrights © 日本経済新聞社 Nikkei Inc. All Rights Reserved.